

電動式水抜栓開閉装置 駆動部 NRZ-D1・D2/TRZ-D1・D2

工事店様用

施工説明書

- この度は、電動式水抜栓開閉装置駆動部をお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工説明書をよくお読みいただき正しく施工して下さい。
- 本製品は、水抜栓に取り付けた駆動部を遠隔操作することにより、水道管の凍結を防止する器具です。
- この施工説明書は大切に保管して下さい。



施工説明書の記載内容および製品の仕様は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

安全上のご注意




ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工して下さい。

■安全表示について

危害、損害の程度を警告・注意に分けて表示しています。

 警告	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
 注意	火傷やけがを負う恐れや物的損害が発生する恐れがあることを示します。

図記号の種類と意味

 してはいけないこと。(行為の禁止)
 注意すること。(注意の喚起)
 必ず行うこと。(行為の強制・指示)

警告

- 分解や改造をしないで下さい。感電する恐れがあったり、作動不良の原因になります。
- 濡れたままの手で、触れないで下さい。感電する恐れがあります。
- 傷、断線のあるコードは使用しないで下さい。感電する恐れがあったり、作動不良の原因になります。
- 駆動部に電源線(交流100V)を直接接続しないで下さい。火災の原因になります。

注意

- 落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や破損の原因になります。
- 火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
- 電源線は、電源端子以外に接続しないで下さい。作動不良の原因になります。
- 水没しないようにして下さい。作動不良の原因になります。
- ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤入りの洗剤は使用しないで下さい。塗装が剥がれたり、印刷が消えたり、部品が溶ける恐れがあります。
- 駆動部コードが濡れているときは、乾燥させてから結線して下さい。濡れたままで結線すると、作動不良の原因になります。
- バルブボックス内に施工する場合は、ハンドル操作が容易にできる空間を確保し、水はけを良くして下さい。
- 既設の水抜栓に駆動部を施工する場合は、水抜栓の経年劣化により、漏水や作動不良の恐れがあります。電動操作で水抜栓が正常に作動することを確認して下さい。
- 仕様範囲内でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等の恐れがあります。
- 落雷の多い地域では、落雷対策(避雷器設置等)をおこなって下さい。対策をとらないと作動不良の恐れがあります。

各部名称と仕様

■駆動部仕様

駆動部型式	NRZ-D1	NRZ-D2	TRZ-D1	TRZ-D2
最大消費電力	12W			
使用周囲環境	-20~50°C			
重量	970g	980g	860g	850g
付属コード	VCTF0.75mm ² (2芯)×3m※			
その他	IPX8準拠			

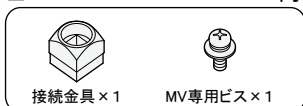
※地域によって長さが異なることがあります。

■NRZ-D1・TRZ-D1同梱品



接続金具×1

■NRZ-D1-MV・TRZ-D1-MV同梱品



接続金具×1

MV専用ビス×1

■NRZ-D2・TRZ-D2同梱品

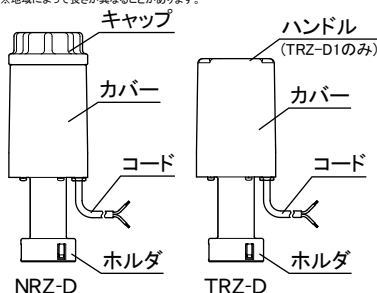


接続金具×1

丸小ネジ×1

ばね座金×1

座金×1



施工例

⚠ 注意

- ① 駆動部は、バルブボックス内が長時間水没または、湿気が溜まっている状態が続くと、故障の原因になります。そのような場所では、バルブボックスを使用しないで下さい。

駆動部 (IPX8準拠 JIS C 0920保護等級)

- ① バルブボックスは、メンテナンススペースが取れるサイズの物をお使い下さい。

バルブボックスサイズの目安

・ワンタッチ式ホルダ
サイズ: 200mm以上

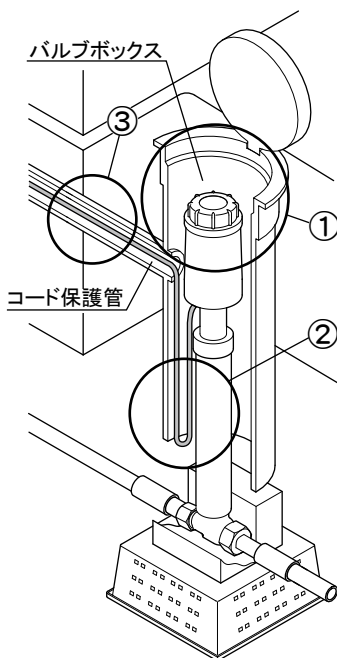
・固定ねじ式ホルダ
サイズ: 300mm以上
(マスキングテープを使用した施工をしてください。)

- ② 駆動部コードは、ホルダの取り外しができるように十分に余裕を持たせて下さい。

⚠ 注意

- ① ボックス内で、駆動部コードと接続するときは、結線部分に防水処理を必ずして下さい。防水処理が不十分だと、作動不良の原因となります。

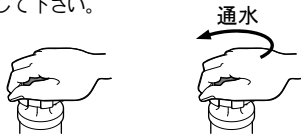
- ③ 駆動部コードは、コード保護管を使って保護して下さい。



駆動部を取り付ける

1. 接続金具の取り付け

- ① 水抜栓のハンドル操作をして、必ず作動確認をして下さい。
- ② ハンドルを通水方向(左回り)に止まるまで回します。
- ③ ビスをゆるめて、ハンドルを取り外します。
- ④ 接続金具をスピンドルに付けて、ビスで固定します。



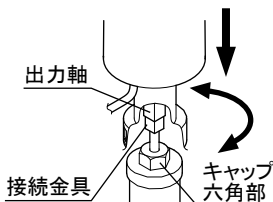
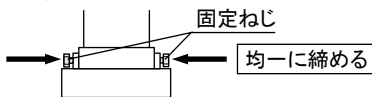
- ❗ ハンドルに付いていたビスをお使い下さい(NRZ-D1・TRZ-D1)
- ❗ MVIは専用のビスをお使い下さい
- ❗ 接続金具の角穴をスピンドルに挿入して下さい

2. 駆動部の取り付け

⚠ 注意

- ❗ ホルダは水抜栓の機種と口径によって異なります。再度ご確認の上、駆動部を取り付けて下さい。
- ❗ 駆動部を付ける前に、接続金具がスピンドルに付いていることを確認して下さい。

- ① ホルダ内側の出力軸を、接続金具に合わせます。
- ② 駆動部を回してホルダ内側の六角部と、水抜栓のキャップを合わせて、キャップが隠れるまで回しながら押し下げます。固定ねじ式は固定ねじを締め付けて下さい。
※固定ねじ(2個)は両側から均一に締め付けて下さい。



キャップが隠れるまで回しながら押し下げる

- ③ 取付け後、軽く引き上げて抜けないことを確認して下さい。

駆動部コードを配線する

- ① 駆動部コードは、歩行の障害にならないように十分に余裕を持たせて配線して下さい。また、コードを保護管で保護するとより安全です。

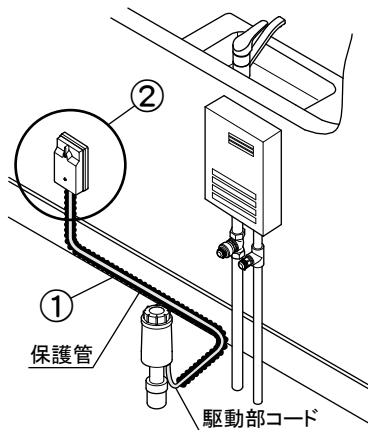
⚠ 注意

- ❗ 駆動部コードを延長する場合には、結線部分に防水処理をして下さい。防水処理が不十分だと、作動不良の原因になります。

- ② 中継端子ボックスの取り付け後、極性に注意して、中継端子ボックス内で駆動部コードを接続をします。(中継端子ボックスを使わない場合は除く。※中継端子ボックスの取り付けは、別紙施工説明書をご覧ください。)

⚠ 注意

- ❗ 駆動部コードに外力が加わる(傷が付きやすい)箇所では、コードを保護管等で保護して下さい。外力によって断線や短絡(ショート)する恐れがあります。



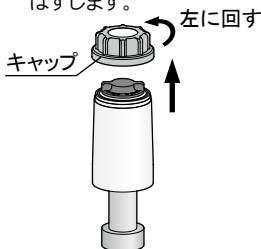
水抜栓を手動で操作するには

⚠ 注意

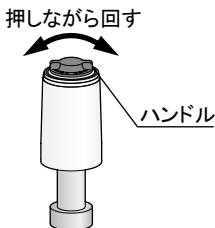
- ❶ 緊急時(停電・故障等)以外は手動で操作しないで下さい。
- ❷ 操作盤の電源を必ず切ってから水抜栓を手動で操作して下さい。電源を切らずに手動で操作すると、操作盤の表示と水抜栓の状態が一致なくなることがあります。
- ❸ 手動操作は止まるまで回して下さい。途中で止めると水量が不足したり、水が抜けない恐れがあります。また、きつく閉めすぎても故障の原因になるのでご注意下さい。

■NRZ-D

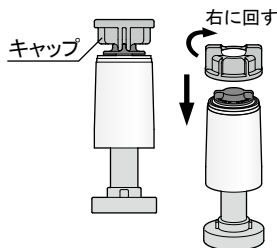
- ①キャップを左に回してはずします。



- ②ハンドルを操作します。

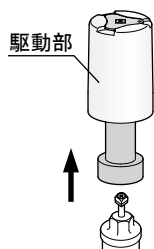


※NRZ-D2は逆さにしたキャップをハンドルに取り付けても操作できます。操作後はキャップを右に止まるまで回して取り付けて下さい。

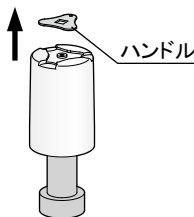


■TRZ-D

- ①駆動部をはずします。



- ②駆動部天面のハンドルを取ります。



- ③接続金具にハンドルを取り付けて操作します。

※TRZ-D2は工具を使って接続金具を操作します。



- ❶ ハンドル操作は、接続した各種水抜栓等の取扱説明書に従って下さい

お問い合わせ先

■お問い合わせのときには最寄の支店・営業所まで次のことお知らせ下さい。

- ・製品名
- ・詳しい状況、内容
- ・その他、お気づきになられたこと
- ・施工日
- ・氏名、住所、電話番号

株式会社 外村製作所

支店・営業所 / 札幌・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・福島・北関東・新潟・長野・甲府
ホームページアドレス <https://www.takemura-ss.com>

お客様ご相談窓口

フリーダイヤル

イーナフター

0120-107210

月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00